

東洋学園大学

東洋学園大学では、さまざまな立場の受験生に寄り添うため、10の選抜方式を展開。受験生に合わせたそれぞれの選抜方式で、学力の3要素を多面的・総合的に評価する。一般選抜と総合型選抜ではそれぞれ3通り、学校推薦型選抜では4通りとなっている。

すべての受験生に公平な選抜方式を展開

2021年度の入試改革以降も、さまざまな状況の受験生が公平に受験・進学できる制度を設けてきた。2023年度も引き続き、受験生の味方として受験・選抜方法を実施していく方針だ。新たな取り組みとして、学校推薦型選抜：公募制に、学校長推薦によって出願ができるこれまで通りの方式に加え、2つの方式を新設。「スポーツ方式」と「一芸方式」（いずれも仮称）。「スポーツ方式」は、本学の「運動部活性化指定団体」の競技（硬式テニス・硬式野球）を大学でも継続する意欲があり、入部対象者のセレクション（練習参加方式）に合格した者が対象。「一芸方式」は英検や情報処理などの検定・資格分野、芸術・芸能分野、競技分野や学術・学芸分野、社会的活動（ボランティアや国際交流）などの6つの分野における活動実績が出願条件となる。

また、特待生制度を4種類まで拡大。学校推薦型選抜でも一部採用を予定している。

一般選抜、総合型選抜、

学校推薦型選抜の概要説明

一般選抜は「TOGAKU方式」「TOGAKU-E方式」「共通テスト利用方式」を実施。

TOGAKU方式は、英語（必須）、国語（必須）のほか、日本史B、世界史B、数学I・数学Aから1科目を選択し受験。3科目受験のうち上位2科目を採用（200点満点）し評価する。

TOGAKU-E方式は、TOGAKU方式と同様

に3科目を受験、上位2科目を採用（200点満点）。英語については、英語外部検定試験のスコア提出を必須とし、CEFRの段階別表示に基づく同学独自の「換算点」を英語の得点とする。

共通テスト利用方式は、2023年度大学入学共通テスト受験科目のうち、2科目以上を受験することを必須とする。受験した科目のうち、得点の高い2科目を採用（200点満点）する。

総合型選抜は「小論文方式」「E方式」「プレゼンテーション方式」を用意。小論文方式は、小論文、面談、調査書等提出書類で選考を行う。

E方式は、同学が指定する英語外部検定試験のスコアを出願条件とする。ライティング、英語での質疑応答を含む面談、調査書等の提出書類で選考を行う。

プレゼンテーション方式は、プレゼンテーション、面談、調査書等提出書類で選考を行う。なお、この方式は、グローバル・コミュニケーション学部と現代経営学部で実施する。

学校推薦型選抜：指定校制は、面接、調査書等提出書類（小論文を含む）で選考を行う。

（調査書の活用について）

部活動／生徒会・委員会活動／留学・海外経験／資格などすべての項目を選考に使用。一般選抜は出席状況と資格、総合型選抜は出席状況、学校推薦型選抜：公募制は出席状況と出願条件の活動・資格を特に重視する。

INFORMATION

カスタムオーキャン

2つのタイプから選べる自由度の高いオープンキャンパスです。気軽に大学を見てみたい方におすすめの「カスタムオーキャンライト」と、個人の希望に合わせて内容を自由にカスタマイズできる「カスタムオーキャンプレミアム」があります。平日の午後や土曜日にも実施しておりますので、大学を知るきっかけとして生徒の皆さまにもお知らせください。



OPEN CAMPUS サイト ▶



入試広報センター 部長
相川 徹人

期待する受験生像

東洋学園大学の建学の精神は「自強不息（じきょうやすまず）」。「自ら弛まず努力を続ける」という意味で、「自ら」とあるように、自分の興味があることをきっかけに自発的・積極的に学び、学びの楽しさを知ることが、弛まず努めて励むことにつながると考えています。だからこそ、まずは自分の好きなフィールドを見つけることが大切。そのための自分探しから、本学はあらゆる助力をしたいと思います。長く充実した人生を送るには「自律的学習者」となり、ずっと学び続ける姿勢が大事になります。私たちと一緒に、「自強不息」してみませんか。